

会 議 要 旨

会 議 の 名 称		令和7年度第1回川越市健康づくり推進協議会
開 催 日 時		令和7年7月25日（金） 午後1時30分 開会 ・ 午後2時40分 閉会
開 催 場 所		川越市総合保健センター 3階研修室・会議室
議長（委員長・会長）氏名		会 長 松本 吉郎
出席者（委員）氏名（人数）		副会長 村田 一男 委 員 宮山 徳司、西村 早苗、金井 進、鶴田 淳子 須田 弘子、館 水晶、三戸 まさみ、山田 美喜子 本木 春男、長峰 す美子、米原 民子、松本 清一 志村 洋子（14名）
欠席者（委員）氏名（人数）		委 員 深井 智子、森田 繁子、大澤 克哉、江尻 旬子 （4名）
事務局職員氏名		部 長 若林 昭彦、課 長 千葉 幸子、副課長 有馬 理恵 副主幹 松百 友紀子、主 査 小高 久美子、主 査 矢島 敬子 主 査 高橋 舞子、主 査 松崎 友宏
会 議 次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 新委員紹介及び委嘱書交付 4 報 告 健康かわごえ推進プラン（第3次）の周知について 5 議 事 （1）健康かわごえ推進プラン（第3次）の概要について （2）健康かわごえ推進プラン（第3次）における主な新規・拡充事業 （3）各団体における今後の取組等について （4）今後のスケジュール 6 そ の 他 7 閉 会	
配 布 資 料	・ 次第 ・ 委員名簿 ・ 資 料 1 健康かわごえ推進プラン（第3次）における主な新規・拡充事業について ・ 資 料 2 健康かわごえ推進プラン（第3次）進捗管理等スケジュール ・ 参考資料 1 健康かわごえ推進プラン（第3次）概要版 ・ 参考資料 2 ライフステージ別概要版 ・ 参考資料 3 ファミリー歯科健診チラシ	

議 事 の 経 過

発言者	議題・発言内容・決定事項
司 会	1 開 会
	2 あいさつ
	3 新委員紹介及び委嘱書交付
事務局	4 報 告 (1) 健康かわごえ推進プラン(第3次)の周知について説明 資料無し ・市公式ホームページ上で公開、関係機関・関係団体等へ配布。 ・ライフステージ別概要版「健康プラス+」は、市民向けに配布していく。 関係機関、団体の希望に応じて、提供可能なので、連絡頂きたい。 (質疑応答) 無し
事務局	5 議 事 (1) 健康かわごえ推進プラン(第3次)の概要について プランの冊子及び概要版に基づき説明 (質疑応答) 無し
事務局	(2) 健康かわごえ推進プラン(第3次)における主な新規・拡充事業 【資料1】 に基づき説明 (質疑応答)
委 員	新規・拡充事業は、予算化できたという理解でよいか。
事務局	予算化できた内容となる。
委 員	それは、素晴らしい。
委 員	資料1の2頁、健康づくりアドバイザー派遣事業の「専門的な情報提供の実施」とは、どのようなものか。
事務局	当課の専門職、保健師、歯科衛生士、管理栄養士が、企業の希望をお伺いしながら、対応していく予定。プランの冊子、第1章の前にある「掲載コラム一覧」は、提供できる情報の一例となる。
委 員	高血圧予防であれば、減塩やナトカリ比測定など、そういうものを企業の要望によって提供していくという理解でよいか。
事務局	そのとおりです。

議 長	では、説明のとおり、事業等を進めてください。
委 員	（３）各団体における今後の取組等について 川越市自治会連合会 各自治会では、昨日から子供たちの夏休みラジオ体操が始まった。その他、老人会の方たちが地域のラジオ体操を行っている。世代間交流などを通し、健康づくりや安全・安心の地域づくりを進めている。
委 員	川越市校長会 小学校では、生涯に渡り健やかな生活するための基礎作りをしている。歯科保健や食の指導、命の教育やがん教育、薬物乱用防止などを各学年、成長の段階に応じて行っている。小学生なのでごく素直に、体験を通してながら成長していく。高学年のがん教育や命の教育は、科学的な視点で学習することができ、吸収が良いと感じている。今後も外部の方の支援を受けながら指導を行っていききたい。
委 員	川越市歯科医師会 乳幼児から高齢者、障害者の方たちの歯科健診、歯科保健指導を行っている。歯ッピーフェスティバルでは、来場者に色々な体験してもらい、楽しく過ごしてもらった。
委 員	川越市薬剤師会 市の関係では、学校毎に学校薬剤師が配置されている。水道水検査、プールの水質検査、教室の二酸化炭素量、照度、騒音など快適な教育環境を作ることということで検査している。子どもたちに色々な講演をしており、例えば、たばこや飲酒の害等、家庭に帰って父母にも話してくれる。最近では若者の「オーバードーズ」が問題になっていて、例えば市販薬を三錠のところ一瓶服用し、気分が高揚して楽しむようなところがあって、なぜいけないのかを小学生、中学生のうちから勉強してもらおう。
委 員	埼玉県歯科衛生士会川越支部 市民の方々の歯と口の健康づくりをするための取組を行っている。保育園・幼稚園での歯みがき指導、公民館で介護予防の講話、歯ッピーフェスティバル、健康まつり、リレーフォーライフ等に参加している。 すべての世代の方に対して、歯と口の大切さを周知活動している。
委 員	川越市スポーツ協会 運動習慣、生涯スポーツの観点での活動を行っている。毎年、各加盟団体により市民体育祭を実施している。11月の生涯スポーツフェスティバルでは、市民のスポーツ体験会、小学生の綱引き大会等を行っている。その他、スポーツ指導者養成講習会、マラソンへの協力等を行っている。
委 員	川越市社会福祉協議会 地区毎に生活支援コーディネーター配置し、民生委員、自治会等、地域で活動されている方々への支援を行っている。各地区のサロン、会食会、いもっこ体操等の自主活動支援の他、住民相互の助け合い活動、子どもの居場所づくりの支援等

	をしている。こうした自主グループ活動が地域における交流の場となり、地域社会へ参加することで生活の質の向上、心身の健康維持につながっている。
委 員	川越市老人クラブ連合会 4月現在で66クラブがある。会員は3712人。高齢化が進む中、ますます会員が減っている状況。60歳、70歳代はまだまだ働けるということで、中々老人クラブには入らない。役員は高齢化し、やむなく解散している例もある。 健康づくりでは、芸能大会は春・秋、スポーツ大会はグランドゴルフ、趣味の作品展もやっている。高齢者の交通事故が多いということで、交通安全運動に参加して、ビラや景品を配布している。高齢者に関する勉強会では、フレイル予防、急性・慢性病の予防、住宅火災の対策等を行った。今後、薬の飲み方や、薬の飲みすぎなど講習会などをやろうと考えている。
委 員	川越市保健推進員協議会 川越市内の自治会連合会22支会から選出されて活動している。地域では、健康についてのチラシをご近所に配布したり、公民館まつりや健康についての講演会を保健師に依頼したりしている。 地域に保健推進員がいるので、ぜひ活用していただきたい。11日14日、健康フェスタを保健センターで行っている。理学療法士、薬剤師会等にも協力いただき、健康について学んでいただいている。
委 員	川越市食生活改善推進員協議会 「わたしたちの健康はわたしたちの手で、伸ばそう健康寿命、つながろう郷土の食を」をスローガンに、子どもから高齢者まで各世代にあった食育活動を進めている。これまでも減塩や野菜摂取など望ましい生活習慣の普及をはじめ各世代にあった食育活動を進めてきた。今後も公民館の依頼や市民対象の講義や調理実習を行い、食生活の正しい知識について伝えていきたいと思っている。社会福祉協議会のボランティア事業、女性団体活動にも参加している。今後も幅広く活動をしていきたい。
委 員	川越市勤労者福祉サービスセンター 公益財団法人川越市勤労者福祉サービスセンターは、サンライフ川越が中高年勤労者の施設となっており体育館もある。もう一つは、市内の企業が会員になり、福利厚生事業を行っている。そういう施設なので、健康づくり支援課と連携し、保健指導の一環としてときも健康スクール、ナトカリ比測定会等を行っている。隣に東部工業会があるので、この取り組みが東部工業会の企業に広がっていけばよいと思っている。企業向けに会報誌を出しているが、健康づくり支援課に協力してもらい、健康関係の情報を出している。企業に利用していただき健康づくりにつなげてもらえたらと思っている。また、健康経営の取組もしており、全国健康保険協会埼玉支部で、健康優良企業認定ステップワンの認定をされ、積極的に健康づくりに取り組んでいる。
委 員	地域活動栄養士 PFC の会 栄養士、管理栄養士の資格を持ったメンバー。身体は食べ物から作られていることを基本に、どう食べたらよいか、食育を基本に講座や料理教室などで伝えてい

	る。創設 30 年で、設立当時は、食に一目置く環境でなかったが、近年は市民の方々も食を考える時代になってきたと思う。選ぶ力をつけていかないと健康は維持できないと感じている。3 年前から保育園での食育指導を行っている。園児だけでなく先生方も関心を持って聞いてくださる。今後も皆様の健康を守るための活動をしてきたい。
委 員	委員さんからの発表を踏まえて、感じたことと意見を述べたい。 プラン全体の構成は、中身を精査し、コンパクトにまとまったと思う。とは言っても 150 ページある。目次の次頁に、「掲載コラム一覧」がある。通常は巻末だが、見逃さないように前出ししたと考えた。 先ほど、新規拡充事業の説明で啓発事業、媒体の作成とあったが、この「掲載コラム一覧」の 51 項目を取り出してまとめると、「健康プラス+」の第 2 弾になる考える。51 項目をまとめて、あるいは項目に分けて、何かの時に配るということは素敵だと思うので検討いただきたい。 団体の方々の活動は、ご苦勞や試行錯誤をされながら長く続けている。時代や社会状況が変わって新たな課題が変わっても、随時皆さんで議論されてやっているのが伝わる。マンネリ化することなく、対象者が固定化しないような取り組みを続けてほしい。
委 員	「概要版」がすごくわかりやすいと思った。大事なことがピックアップされている。データと健康課題の解決に向けて、活動していることが改めてわかった。 市が、令和 4 年から「自然と健康になれる環境づくり」に力を入れており、健康づくりを頑張っている人でなくても「自然と健康になれる環境づくり」は、すべての人が健康づくりにシフトできる。それぞれの団体さんの活動はそこにつながっているものもたくさんある。やってみようかなと思う人を増やし、やった人が無理なく続ける。各団体の活動が、より多くの人にいきとどくよう、引き続き行ってほしい。 (質疑応答) 無し
事務局	(4) 今後のスケジュール 【資料 2】に基づいて説明 (質疑応答) 無し
委 員	6 その他 チラシ・ポスターを、市民の皆さんがどのくらい活用しているか、例えば市のホームページ閲覧数どの位とか数値的な目安が欲しいがどうか。
事務局	これまでは、配布数を把握していないが、今後、印刷枚数をカウントすればできるので把握をしたい。 ホームページは、アカウントをカウントすることはできる。しかし、静止画像、チラシ等はあまり見てもらってない現状もある。分析しながらお伝えしたい。
委 員	すごく良い内容なので、PR の仕方を考え市民の皆さんに周知してほしい。

事務局	ねんりんピックについて、来年度の健康まつりについて、ねんりんピックと同時開催又は別開催について、このあとの実行委員会で決めさせていただく。 7 閉 会
-----	---